

Title	【部局史編 2】表紙ほか
Author(s)	京都大学百年史編集委員会
Citation	京都大学百年史：部局史編；2 (1997)
Issue Date	1997-09-30
URL	http://hdl.handle.net/2433/152975
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

京都大学百年史

部局史編 2

題字 井村 裕夫

凡 例

- 1 京都大学百年史は、京都大学百年史編集委員会が編集する京都大学百年の歴史であり、総説編 1 巻、部局史編 3 巻、資料編 3 巻よりなる。
- 2 部局史編は、平成 6 (1994) 年 3 月 31 日現在、京都大学を構成する学部・研究科・研究所・センター等の部局、医療技術短期大学部、および平成 5 (1993) 年 3 月 31 日に廃止された教養部について記述したものである。
- 3 部局史編 3 巻の構成は、次の通りである。

部局史編 1 総合人間学部 文学部 教育学部 大学院法学研究科・法学部 経済学部 大学院理学研究科・理学部 大学院医学研究科・医学部、医学部附属病院 薬学部

部局史編 2 工学部 農学部 農学部附属農場 農学部附属演習林 大学院人間・環境学研究科 (旧)教養部 化学研究所 人文科学研究所 胸部疾患研究所 原子エネルギー研究所 木質科学研究所 (本巻)

部局史編 3 食糧科学研究所 防災研究所 基礎物理学研究所 ウイルス研究所 経済研究所 数理解析研究所 原子炉実験所 霊長類研究所 東南アジア研究センター 保健管理センター 大型計算機センター 放射性同位元素総合センター 体育指導センター ヘリオトロン核融合研究センター 放射線生物研究センター 環境保全センター 情報処理教育センター 超高層電波研究センター アフリカ地域研究センター 遺伝子実験施設 生体医療工学研究センター 留学生センター 生態学研究センター 埋蔵文化財研究センター 医療技術短期大学部

4 記述については、以下の要領によった。

- (1) 敬称・敬語は使用しない。
- (2) 本文は常用漢字、現代仮名遣いを使用した。ただし、人名などの固有
名詞およびかな書きでは意味をとりにくい用語などはこの限りではな
い。
- (3) 資料引用文は常用漢字を用いたが、かなづかい、送りがなは原文によ
った。
- (4) 原則として和文の書名・雑誌名・新聞名等は『 』、論文名・研究題
目等は「 」で表し、欧文の場合はそれぞれ“ ”、‘ ’で表記した。
- (5) 年代の表記は、年号・西暦の併記を原則とし、どちらを主とするかは
各部局内部で統一をはかった。

目 次

凡 例
図表一覧
写真一覧

第9章 工 学 部

第1節 総 記 2

第1項 沿 革 2

- 1.創設当初と京都帝国大学の時代 2
- 2.新制工学部時代 3
- 3.昭和後期と平成の時代 8

第2項 大学院重点化改組 13

- 1.大学院重点化改組の概要 13
- 2.教育体制の改編 15
- 3.改組後の各専攻と学科の構成 17

第2節 学科・専攻の発展 21

第1項 土木系学科(土木工学、交通土木工学) 21

- 1.総説 21
- 2.講座の歩み 22
- 3.土木系学科・系専攻における教育 31
- 4.21世紀の教室の発展に向けて 33

第2項 衛生工学科 39

- 1.総説 39
- 2.講座の歩み 40
- 3.教育・研究の活動状況 42
- 4.主な出来事 45
- 5.卒業生の活躍 46
- 6.21世紀の教室の発展に向けて 47

第3項 資源工学科 48

- 1.沿革 48
- 2.建物 49
- 3.教育研究 50
- 4.講座の

歩み 50

第4項 環境地球工学専攻 59

1.沿革 59 2.講座の活動 60 3.教育・研究の活動状況 64 4.主な出来事 66 5.卒業生 67 6.教室の発展に向けて 67

第5項 建築系学科(建築学科、建築学第二学科) 67

1.沿革 67 2.建築学科の講座の歩み 70 3.建築学第二学科の講座の歩み 83

第6項 機械系学科(機械工学科、物理工学科) 88

1.沿革 88 2.機械工学科の講座の歩み 94 3.物理工学科の講座の歩み 105

第7項 精密工学科 110

1.沿革 110 2.講座の歩み 112

第8項 金属系学科(冶金学科、金属加工学科) 119

1.沿革 119 2.建物 121 3.教育研究 121 4.卒業生 123 5.冶金学科の講座の歩み 124 6.金属加工学科の講座の歩み 131

第9項 エネルギー応用工学専攻 137

1.沿革 137 2.講座の歩み 138

第10項 原子核工学科 140

1.沿革 140 2.講座の歩み 143

第11項 航空工学科 149

1.沿革 149 2.講座の歩み 152

第12項 電気系学科(電気工学科、電子工学科、電気工学第二学科) 158

1.沿革 158 2.電気工学科の講座の歩み 164 3.電子工学科の講座の歩み 172 4.電気工学第二学科の講座の歩み 181 5.大学院重点化改組 189

第13項	工業化学科	190
1.	沿革	190
2.	講座の歩み	192
第14項	石油化学科	206
1.	沿革	206
2.	講座の歩み	208
第15項	化学工学科	217
1.	沿革	217
2.	講座の歩み	222
第16項	高分子化学科	229
1.	沿革	229
2.	講座の歩み	231
第17項	合成化学科	242
1.	沿革	242
2.	講座の歩み	243
第18項	分子工学専攻	252
1.	沿革	252
2.	講座の歩み	254
第19項	数理工学科	256
1.	沿革	256
2.	講座の歩み	260
第20項	応用システム科学専攻	266
1.	沿革	266
2.	講座の歩み	268
第21項	情報工学科	271
1.	沿革	271
2.	講座の歩み	275

第3節 研究施設 282

第1項	イオン工学実験施設	282
第2項	環境微量汚染制御実験施設	283
第3項	重質炭素資源転換工学実験施設	285
第4項	高度情報開発実験施設	286
第5項	メゾ材料研究センター	288

第4節 財団法人 290

- 第1項 応用科学研究所 290
- 第2項 日本化学繊維研究所 290
- 第3項 鉱産資源研究所 291
- 第4項 建築研究協会 291
- 第5項 有機合成化学研究所 292
- 第6項 物理探鉱研究会 292
- 第7項 イオン工学振興財団 293
- 第8項 基礎化学研究所 293

第10章 農 学 部

第1節 通 史 296

第1項 農学部の沿革——組織の変遷 296

- 1. 京都帝国大学農学部 296 2. 京都大学農学部 298

第2項 農学研究の諸特徴——代表的事例を通して見る 300

- 1. 脂肪酸およびこれを含有する生物体成分の研究(鈴木文助) 300 2. テリス根の有効成分ロテノンの化学構造に関する研究(武居三吉) 302 3. コムギの細胞遺伝学的研究(木原均) 304 4. ポーラログラフィーの研究(志方益三・館勇) 306 5. 窒素配糖体ことにアミノ酸配糖体の研究(井上吉之) 308 6. 乳酸菌ことにそのラセミアーゼの研究(片桐英郎・北原覚雄) 310 7. ホルモン処理による家畜繁殖の生理学的研究(西川義正) 311 8. 「京大式農家経済簿」と農業経営学の創設(大槻正男) 313 9. 環状糖アルコールとそのアミノ誘導体の合成に関する研究(中島稔) 315 10. ビタミンB₂の生合成機構に関する研

究とその応用(満田久輝) 317 11.貯水ダムの設計に関する研究(沢田敏男) 319 12.植物培養細胞における機能発現ならびに物質産生機構の解析(山田康之) 321

第3項 農学部 of the 出版物 323

1.『農学部紀要』(Memoirs of the College of Agriculture, Kyoto University) 323 2.各学科・研究施設等で刊行している紀要類 325

第4項 農学部 of the 改組 326

1.大学院重点化と学部改組の必然性 326 2.京都大学農学研究科・農学部改組の基本方針 327 3.農学研究科改組の概要 328 4.農学部改組の概要 329 5.管理運営のための組織・制度の改革 330 6.新しい農学の役割 330

第2節 学科・専攻・施設 332

第1項 農 学 科 332

1.作物学講座 333 2.育種学講座 335 3.蔬菜花卉園芸学講座 337 4.果樹園芸学講座 339 5.雑草学講座 341 6.農学科時代の畜産学講座 344

第2項 林 学 科 345

1.森林経理学講座 347 2.森林生態学講座 349 3.造園学講座 351 4.砂防学講座 353 5.林業工学講座 355

第3項 農芸化学科 356

1.土壌学講座 357 2.生物化学講座 359 3.植物栄養学講座 360 4.天然高分子化学講座 361 5.発酵生理および醸造学講座 363 6.生物調節化学講座(農薬化学講座) 364 7.分子細胞育種学講座 365 8.制御

発酵学講座 367 9.植物分子生物学講座 368 10.細胞物理化学講座 369 11.細胞有機化学講座 370

第4項 農林生物学科 371

1.植物病理学講座 372 2.昆虫学講座 374 3.実験遺伝学講座 376 4.応用植物学講座 378

第5項 農業工学科 380

1.農業施設工学講座 381 2.かんがい排水学講座 383
3.農地計画学講座 385 4.水利工学講座 386 5.農用原動機学講座 387 6.農用作業機械学講座 388
7.農産加工機械学講座 389

第6項 農林経済学科 391

1.農業経営学講座 392 2.農業計算学講座 395
3.農政学講座 397 4.林政学講座 399 5.農史講座 401 6.農学原論講座 403

第7項 水産学科 405

1.水産化学講座 407 2.水産物理学講座 408 3.水産微生物学講座 409 4.水産生物学講座 411

第8項 林産工学科 412

1.木材工学講座 414 2.木材構造学講座 415 3.林産機械学講座 416 4.林産化学講座 416 5.木材加工材料学講座 417 6.木材化学講座 418

第9項 食品工学科 418

1.栄養化学講座 419 2.農産製造学講座 420 3.食品化学講座 421 4.微生物生産学講座 423 5.農業分析学講座 424 6.酵素化学講座 425

第10項 畜産学科 426

1.家畜育種学講座 428 2.家畜繁殖学講座 429
3.家畜栄養学講座 430 4.家畜生体機構学講座 431

第11項 熱帯農学専攻 432

1. 熱帯農学講座 432
2. 水産資源学講座 433
3. 国際林業論講座 433
4. 畜産資源学講座 433
5. 地域計画論講座 434
6. 熱帯稲作論講座 434
7. 熱帯地文環境論講座 434
8. 熱帯水文環境論講座 434

第12項 附属農業簿記研究施設 435

1. 第1期：1部門時代(1958～65年) 435
2. 第2期：2部門時代(1965～94年) 436

第13項 農学部附属農業研究施設 438

第14項 農学部附属亜熱帯植物実験所 439

第15項 植物生殖質研究施設 441

第16項 附属水産実験所 443

第17項 附属牧場 445

第11章 農学部附属農場

第1節 総 記 450

第1項 創設期 450

第2項 摂津農場の誕生と農場の整備 451

第3項 戦後の農場——昭和20～39年 460

第4項 昭和40年以後の農場 463

第2節 研 究 471

第1項 各部の概況 472

1. 水田部 472
2. 果樹部 476
3. 蔬菜部 480
4. 花卉温室部 483
5. 畜産部 487
6. 京都農場 487

第2項	大学農場間の共同研究	488
第3項	研究成果の出版	490
第3節	教 育	492
第1項	農場実習	492
第2項	人材の育成	495
第3項	練習生制度について	496
第4節	組織・財政・資料	497
第1項	組 織	497
	1.創設期の職員構成	497
	2.昭和37年の組織機構図	497
	3.平成5年1月1日における組織機構図と職員数	499
第2項	財 政	500
第3項	そ の 他	500
	1.安満遺跡	500
	2.親睦会	501

第12章 農学部附属演習林

第1節	総 記	504
第1項	創 設 期	504
第2項	戦後の再整備	507
第3項	研究の展開	511
第2節	各演習林・試験地	516
第1項	台湾演習林	516

第2項	朝鮮演習林	520
第3項	樺太演習林	524
第4項	芦生演習林	529
	1. 第1期(設置当初～戦中、戦後の混乱期)	531
	2. 第2期(戦後の復興～木材生産が拡大する昭和40年代前半)	533
	3. 第3期(昭和40年代後半～)	536
第5項	北海道演習林	540
第6項	和歌山演習林	550
第7項	本部試験地	559
第8項	上賀茂試験地	564
第9項	白浜試験地	571
第10項	徳山試験地	575

第13章 大学院人間・環境学研究科

第1節	総記	582
第1項	人間・環境学研究科の創設と将来構想	582
	1. 創設	582
	2. 将来構想	584
第2項	研究科の理念	584
第3項	人間・環境学専攻の趣旨と構成	586
	1. 趣旨	586
	2. 構成	587
第4項	文化・地域環境学専攻の趣旨と構成	587
	1. 趣旨	587
	2. 構成	588
第5項	講座相関図	590
第2節	講座の発展	591

第1項 人間・環境学専攻 591

1. 人間存在基礎論講座(基幹講座) 591
2. 動態環境論講座(基幹講座) 593
3. 人間社会論講座(基幹協力連携講座) 594
4. 人間形成論講座(基幹協力連携講座) 595
5. 自然・人間共生基礎論講座(基幹協力連携講座) 596
6. 環境情報認知論講座(基幹協力連携講座) 597
7. 自然環境論講座(基幹協力連携講座) 598
8. 分子・生命環境論講座(基幹協力連携講座) 599

第2項 文化・地域環境学専攻 600

1. 文化・社会環境論講座(基幹講座) 600
2. 環境物性解析論講座(基幹講座) 601
3. 文化環境言語基礎論講座(基幹講座) 601
4. 環境保全発展論講座(基幹講座) 602
5. 文化人類学講座(協力講座) 605
6. 日本文化環境論講座(協力講座) 605
7. ヨーロッパ文化環境論講座(協力講座) 606
8. 東南アジア地域研究講座(協力講座) 606
9. アフリカ地域研究講座(協力講座) 606

第3節 施設 608

第1項 建物の状況 608

第2項 将来計画 608

第14章 (旧)教養部

第1節 総記 612

第1項 設立過程 612

1. 学制改革案研究 612
2. 京大からの合同申し入

れ 613 3.合同委員会成立と分校誕生 614

第2項 分校時代 616

第3項 教養部時代 624

第2節 教養部の発展…………… 633

第1項 管理・運営機関 633

第2項 学科・学科目・教室 638

1.学科の編成 638 2.単位制と留年制 647 3.学科
目と教室 648

第3項 教育環境 651

1.学生数と教職員定員 651 2.教育施設 659 3.学
生の生活 670

第4項 研究活動 677

1.哲学教室 677 2.心理学教室 680 3.歴史学教
室 682 4.人文地理学教室 684 5.文学教室 685
6.法政学教室 687 7.経済学教室 688 8.社会学教
室 690 9.英語教室 691 10.ドイツ語教室 697
11.フランス語教室 702 12.中国語教室 704 13.露
語教室 705 14.数学教室 706 15.物理学教室 710
16.化学教室 714 17.生物学教室 718 18.地学教
室 720 19.図学教室 722 20.保健体育教室 724
21.総合教室 728

第5項 一般教育の検討 729

第6項 研究関係刊行物 733

第15章 化学研究所

第1節 総 記 736

第1項 沿 革 736

第2項 創設期における官制と組織 737

第3項 組織および制度の変遷 740

1. 研究組織と職員の変遷 740 2. 部門の制定 743

3. 研究所における大学院制度 746

第4項 管理と運営 748

1. 決議機関と運営機関 748 2. 経費 749

第5項 施 設 751

1. 創立当時 751 2. 高槻における研究所 751 3. 宇治 における研究所 752

第2節 研究活動の展開 755

第1項 構造解析基礎研究部門 755

1. 第1領域 755 2. 第2領域 757 3. 第3領域 760

第2項 界面物性研究部門 762

1. 第1領域 762 2. 第2領域 765 3. 第3領域 767

第3項 無機素材化学研究部門 770

1. 第1領域 770 2. 第2領域 772 3. 第3領域 774

4. 第4領域 776 5. 客員領域 779

第4項 材料物性基礎研究部門 779

1. 第1領域 779 2. 第2領域 781 3. 第3領域 784

4. 客員領域 786

第5項 有機材料化学研究部門 787

1. 第1領域 787 2. 第2領域 789

- 第6項 有機合成基礎研究部門 792
1. 第1領域 792 2. 第2領域 794 3. 第3領域(客員領域) 795
- 第7項 生体反応設計研究部門 796
1. 第1領域 796 2. 第2領域 798 3. 第3領域 800
- 第8項 生体分子機能研究部門 803
1. 第1領域 803 2. 第2領域 805
- 第9項 生体分子情報研究部門 808
1. 第1領域 808 2. 第2領域 810 3. 第3領域 812
- 第10項 原子核科学研究施設 815
- 第11項 核酸情報解析施設 820

第16章 人文科学研究所

- 第1節 総記——沿革 824
- 第1項 人文科学研究所 824
- 第2項 東方文化研究所 826
- 第3項 西洋文化研究所 830
- 第4項 新発足の人文科学研究所 831
- 第5項 部門の増設、附属施設 837
- 第2節 機構・施設・職員 839
- 第1項 機 構 839
- 第2項 職 員 842
- 第3項 土地・建物 844

第4項	蔵書・資料	846
第3節	部門の発展と研究・教育活動	851
第1項	総説	851
第2項	日本部	852
第3項	東 方 部	856
	1.旧東方の共同研究	856
	2.統合後の共同研究	859
	3.1970年以後の共同研究	864
第4項	西 洋 部	870
第5項	客員部門	876
第6項	招聘外国人学者・外国人共同研究者	880
第7項	研修員・研究生	881
第8項	海外調査研究	882
第9項	出 版	885
第10項	夏期講座・開所記念講演会	890
第4節	附属施設——東洋学文献センター	892
第1項	沿革・機構・施設	892
第2項	活 動	893
	1.資料の蒐集と公開	893
	2.情報提供活動	893
	3.国内の漢籍調査	895
	4.漢籍担当職員の養成	895
第5節	財団法人人文科学研究協会	897

第17章 胸部疾患研究所

第1節 総 記 906

第1項 結核研究所(昭和16年3月26日～42年5月31日) 906

第2項 結核胸部疾患研究所(昭和42年6月1日～63年4月7日) 911

1. 臨床研究活動 912 2. 基礎研究活動 914

第3項 胸部疾患研究所(昭和63年4月8日～) 914

第2節 研究部門の発展 919

第1項 環境生態学部門 919

1. 人間環境学分野(客員)(昭和63年4月8日～) 919

2. 環境呼吸器病学分野 920 3. 老化生物学分野 924

第2項 生体防御学部門 930

1. 感染・炎症学分野 930 2. 免疫学分野 935 3. 臨床免疫学分野 940

第3項 生体調節・再建学部門 942

1. 臨床生理学分野 943 2. 胸部外科学分野 947

3. 補助臓器学分野(昭和64年1月1日～) 952

第4項 細胞調節学部門 954

1. 分子病理学分野(昭和63年4月8日～) 955 2. 細胞生物学分野 957 3. 腫瘍学分野 961

第5項 廃止された非公認研究部門 963

1. 小児特異性研究部門 963 2. 病態生理学部門 964

第3節 施 設 965

第1項 附属病院 965

1. 診療科 965 2. 中央診療施設 966
- 第2項 附属感染免疫動物実験施設 968

第18章 原子エネルギー研究所

第1節 総 記 972

第1項 創設前期——中央実験所時代 972

第2項 沿 革 974

1. 第1期——工学研究所の設立 974 2. 第2期——工
学研究所の整備と原子力研究への転換 977 3. 第3期
——原子エネルギー研究所への改組 981

第2節 研究活動の発展 986

第1項 第1期(昭和16～29年)における研究活動 986

第2項 第2期(昭和30～45年)における研究活動 995

1. 原子炉構造部門 996 2. 粒子線工学部門 997
3. 原子炉計測工学部門 998 4. 原子燃料部門 1000
5. 原子炉材料部門 1001 6. 原子核化学工学部門 1002
7. 放射線応用工学部門 1004 8. 原子炉保安工学部
門 1006

第3項 第3期(昭和46年以降)における研究活動 1008

1. 原子炉構造研究部門 1009 2. 粒子線工学研究部
門 1011 3. 原子炉計測工学研究部門 1013 4. 原子
燃料研究部門 1015 5. 原子炉材料研究部門 1017
6. 原子核化学工学研究部門 1019 7. 放射線応用工学
研究部門 1021 8. 原子炉保安工学研究部門 1023

図表一覧

第9章 工学部		の活躍分野 413	
図9-1	学科等の開設・改編と工学部の歴史 6	第11章 農学部附属農場	
図9-2	改組に伴う講座の移動 14	図11-1	京都帝国大学摂津農場見取図 453
図9-3	教育課程の改編 16	図11-2	京都帝国大学摂津農場附属古曾部園芸場見取図 454
図9-4	機械系建物配置図(昭和36年) 91	図11-3	昭和37年の農場組織機構図 498
図9-5	機械系建物配置図(平成6年) 91	図11-4	平成5年の農場組織機構図 499
図9-6	合成化学教室・講座担任教授の変遷 251	表11-1	水質試験成績(検水1ℓ中のmg量) 457
表9-1	改組後の学科と専攻の構成 18	表11-2	実習参加人数(昭和24年度) 493
表9-2	機械系学科学生定員の移り変わり 93	表11-3	採用教官数 495
表9-3	電気工学科の講座名および経緯 161	表11-4	職員構成 497
表9-4	電子工学科の講座名および経緯 161	表11-5	昭和35年度と昭和38年度の職員数の比較 498
表9-5	電気工学第二学科の講座名および経緯 162	表11-6	平成5年における職員数 499
表9-6	平成7(1995)年4月改組後の講座名 189	表11-7	昭和53年度から平成3年度までの歳出、歳入、科学研究費補助金、委任経理金 500
第10章 農学部		第12章 農学部附属演習林	
図10-1	高CO ₂ ・地球温暖化影響実験装置 334	図12-1	京都帝国大学農学部附属演習林の海外演習林所在地(昭和
図10-2	林産工学科卒業生(1～25期)		

17年) 505	図12-19 白浜試験地概略図 572
図12-2 京都大学農学部附属演習林所在地(平成5年) 508	図12-20 徳山試験地概略図 576
図12-3 芦生演習林概略図 529	表12-1 歴代の演習林長とその在任期間 506
図12-4 芦生演習林年度別木炭生産量 532	表12-2 年度別配当定員数 510
図12-5 芦生演習林年度別伐採量 534	第13章 大学院人間・環境学研究科
図12-6 芦生演習林年度別造林地面積 534	図13-1 人間・環境学研究科講座相關図 590
図12-7 北海道演習林標茶区概略図 541	図13-2 組織編成図 592
図12-8 北海道演習林標茶区年度別伐採量 542	第14章 (旧)教養部
図12-9 北海道演習林標茶区年度別造林地面積 542	図14-1 吉田分校建物配置図(昭和30年) 620
図12-10 北海道演習林白糠区概略図 547	図14-2 宇治分校建物配置図(昭和30年) 622
図12-11 北海道演習林白糠区年度別伐採量 548	図14-3 教養部建物配置図(平成4年) 627
図12-12 北海道演習林白糠区年度別造林地面積 548	表14-1 新制教養部門の教官定員概算要求 615
図12-13 和歌山演習林概略図 551	表14-2 歴代分校主事・教養部長 632
図12-14 和歌山演習林年度別伐採量 555	表14-3 授業科目一覧表 640
図12-15 和歌山演習林年度別造林地面積 555	表14-4 教養部の教室名と所属教官数 649
図12-16 北部構内における本部試験地配置図 560	表14-5 教養部教職員数 650
図12-17 上賀茂試験地概略図 565	表14-6 年度別入学者数 652
図12-18 上賀茂試験地におけるマツ枯れ被害の推移 569	表14-7 教官当たり学生数(2学年相当) 654
	表14-8 昭和60年度以降学生募集定員および入学者数 657
	表14-9 大講義上位10例(平成4年度) 658

- 9.原子炉事故解析研究部門 1026 10.原子エネルギー変換研究部門(客員) 1027

第3節 研究所の将来展望 1029

第19章 木質科学研究所

第1節 総 記 1032

- 第1項 設立から改組・拡充・名称変更まで(1944～91年)の沿革 1032
- 第2項 改組・拡充と名称変更 1034
- 第3項 教育および社会的・国際的活動 1035

第2節 研究活動 1038

第1項 創立から改組・拡充まで 1038

- 1.木材物理研究部門(1944～90年) 1038 2.木材化学研究部門(1944～90年) 1045 3.木材生物研究部門(1944～90年) 1052 4.木質材料研究部門(1963～90年) 1060 5.リグニン化学研究部門(1967～90年) 1064
- 6.高耐久性木材開発部門(木材防腐防虫実験施設)(1979～90年) 1068

第2項 改組から現在まで 1070

- 1.木質生命科学研究大部門 1070 2.木質バイオマス研究大部門 1076 3.木質材料機能研究大部門 1082
- 4.木質環境客員部門 1088

表14-10	教養部講義室一覧	669
表14-11	哲学教室教官一覧	679
表14-12	心理学教室教官一覧	681
表14-13	歴史学教室教官一覧	683
表14-14	人文地理学教室教官一覧	685
表14-15	文学教室教官一覧	686
表14-16	法政学教室教官一覧	687
表14-17	経済学教室教官一覧	689
表14-18	社会学教室教官一覧	690
表14-19	英語教室教官一覧	693
表14-20	ドイツ語教室教官一覧	699
表14-21	フランス語教室教官一覧	703
表14-22	中国語教室教官一覧	705
表14-23	露語教室教官一覧	706
表14-24	数学教室教官一覧	708
表14-25	物理学教室教官一覧	712
表14-26	化学教室教官一覧	716
表14-27	生物学教室教官一覧	719
表14-28	地学教室教官一覧	721
表14-29	図学教室教官一覧	723
表14-30	保健体育教室教官一覧	726
表14-31	総合教室教官一覧	729

第15章 化学研究所

図15-1	宇治地区における化学研究所 の建物(平成6年現在)	753
表15-1	専任職員数の変遷(昭和38～ 平成6年：毎年7月1日現在)	742
表15-2	改組後における研究部門と研 究施設(平成4年4月現在)	745
表15-3	大学院学生数の変遷(昭和38 ～平成6年度：毎年5月1日 現在)	747
表15-4	化学研究所年次経費(昭和29 ～平成5年度)	750
表15-5	宇治地区における化学研究所 の建物の変遷	754

第17章 胸部疾患研究所

図17-1	研究部門・分野の変遷	908
表17-1	歴代所長	918
表17-2	歴代病院長	968

第18章 原子エネルギー研究所

図18-1	工学研究所標章	980
表18-1	研究担当教授名と一般研究名	1007

写真一覧

第9章 工 学 部

- 写真9-1 機械系教室実験研究棟 92
- 写真9-2 明治45年当時の採鉱冶金学教室 121
- 写真9-3 現在の冶金学、金属加工学教室（工学部6号館） 121
- 写真9-4 超高真空型クラスターイオンビーム装置 283

第10章 農 学 部

- 写真10-1 MEMOIRS OF THE COLLEGE OF AGRICULTURE タイトルページ 323
- 写真10-2 MEMOIRS OF THE COLLEGE OF AGRICULTURE 目次 323
- 写真10-3 LIST OF PAPERS タイトルページ 324
- 写真10-4 生命・食料・環境 1994 タイトルページ 324
- 写真10-5 Life, Food and Environment. 1994 タイトルページ 324
- 写真10-6 ファイトトロンを利用した水稻の冷温障害不稔の研究 334
- 写真10-7 育種学研究室恒例の田植え

336

- 写真10-8 イネ mutator の活性化に伴って生じる枝梗別粒状キメラ 336
- 写真10-9 粒状ロックウール耕によるメロン栽培 338
- 写真10-10 実験圃場で保存・収集しているカキ品種の果実 341
- 写真10-11 タイで調査・収集中のカキ属数種の果実 341
- 写真10-12 ゴルフ場における雑草スズメノカタビラの遺伝的変異 342
- 写真10-13 ヒエ属雑草における発芽生理における適応分化 342
- 写真10-14 役牛時代と肉牛の見島牛 344
- 写真10-15 同上 344
- 写真10-16 森林経理学研究室：アメリカ合衆国ワシントン州の森林伐採現場 348
- 写真10-17 森林生態学研究室：リタートラップにより物質循環量を測定している 350
- 写真10-18 造園学研究室：都市近接地域での土地利用と景観の変化に対する住民の選好について調査中の光景 352

- 写真10-19 砂防学研究室：Flashflood
の流動形態を調べる水路実
験 354
- 写真10-20 林業工学研究室：演習林に
おいての伐出作業調査
355
- 写真10-21 シアミノヘキサンの投与
により着花したアサガオ
(*Pharbitis nil* CV. Kida-
chi) 370
- 写真10-22 キュウリモザイクウイルス
抵抗性形質転換タバコ (CP
+) 373
- 写真10-23 252会(昆虫学研究室同窓
会)記念写真(1934年夏、農
学部) 376
- 写真10-24 岩倉圃場における収穫祭
(実験遺伝学研究室、1993
年7月) 377
- 写真10-25 短日処理によるアサガオの
花成誘導 379
- 写真10-26 農場での水稻用水量試験
(1950年) 384
- 写真10-27 総合農業水利研究実験場
(舞鶴) 386
- 写真10-28 果樹園用収穫ロボット
389
- 写真10-29 農林経済学教室全景 393
- 写真10-30 農林経済学教室創設期から
収集されたドイツ農業関係
資料 393
- 写真10-31 アメリカ稲作調査(1987年)
395
- 写真10-32 野外(東山)でのゼミナール
(1982年) 397
- 写真10-33 中山間地域問題は農政に重
要課題——和歌山県清水町
の棚田風景(1994年) 398
- 写真10-34 北山における磨丸太工場見
学(農林経済学実習、1990
年) 401
- 写真10-35 収集されている地方史関係
資料 402
- 写真10-36 橋本傳左衛門訳・クルチモ
スキー著『農学原論』
403
- 写真10-37 水産学教室の教官および事
務職員(1994年9月) 406
- 写真10-38 ケヤキ材の走査電顕像
415
- 写真10-39 哺乳動物の生理機能を可視
化して解析するイメージン
グ型核磁気共鳴装置 431
- 写真10-40 熱帯高地の土地利用 433
- 写真10-41 農業簿記研究施設正面玄関
435
- 写真10-42 農学部本館から見た農業簿
記研究施設全景 435
- 写真10-43 和歌山県古座田原の畦畔な
し水田(通称フケ田) 440
- 写真10-44 麦秋の植物生殖質研究施設
443
- 写真10-45 研究調査船緑洋丸 444
- 写真10-46 水産実験所標本館 444

写真10-47 水産実験所本館 445

第11章 農学部附属農場

写真11-1 京都帝国大学農学部附属農場本館 450

写真11-2 京都帝国大学農学部附属農場全景 450

写真11-3 果樹園の暗渠施設の設置 452

写真11-4 摂津農場本館 452

写真11-5 創設期の研究棟 454

写真11-6 種畜舎と牧農夫舎 454

写真11-7 左から堆肥舎、肥料舎、本館、研究棟 455

写真11-8 古曾部園芸場と職員宿舎 455

写真11-9 園芸加工室 455

写真11-10 加工室での缶詰の巻き締め作業 455

写真11-11 水田のパイプ・イリゲーション施設 456

写真11-12 果樹園のパイプ・イリゲーション施設 456

写真11-13 蔬菜園のオーバーヘッド・イリゲーション施設 456

写真11-14 門柱の建設 456

写真11-15 果樹園における灌水法 456

写真11-16 果樹園における馬耕 457

写真11-17 水田における牛耕 457

写真11-18 強く切り戻された二十世紀梨 458

写真11-19 ライシメータに栽植された柿 458

写真11-20 古曾部園芸場全景 459

写真11-21 オオオニバス 459

写真11-22 田園風景 460

写真11-23 水田の除草 460

写真11-24 摂津農場創立20周年記念撮影 461

写真11-25 研究棟 461

写真11-26 大区画化された水田圃場 462

写真11-27 スピードスプレイヤーによる果樹園の薬剤散布 462

写真11-28 機械格納庫 464

写真11-29 古曾部温室の管理棟・研究棟 465

写真11-30 改築された古曾部温室のガラス室 465

写真11-31 創立50周年記念祝賀会 466

写真11-32 農場創立50周年記念撮影 466

写真11-33 銀杏並木の改植 468

写真11-34 冬の農場本館 469

写真11-35 田植え時の記念撮影(昭和9年6月24日) 473

写真11-36 ダイズの収穫風景(昭和初期) 473

写真11-37 米の供出 474

写真11-38 果樹園の草刈り 478

写真11-39 モモの主幹形栽培 478

写真11-40 アスパラガスの定植 480

- 写真11-41 イチゴの収穫 481
- 写真11-42 ウツボカズラ (Nepenthes
‘Hybrida’) の育種 484
- 写真11-43 アジサイの研究 486
- 写真11-44 農学部本館内に移転した京
都農場 488
- 写真11-45 在りし日の農場実習(昭和
11年) 492
- 写真11-46 苗取りの実習 494
- 写真11-47 実習の記念写真(昭和53
年) 494
- 第12章 農学部附属演習林**
- 写真12-1 扇平作業所 517
- 写真12-2 ベニヒの伐採 517
- 写真12-3 キナ乾燥場における始業前
の朝礼 518
- 写真12-4 当時の現地民族衣装を着た
学生たち(昭和5年度学生
実習) 520
- 写真12-5 旧台湾演習林での台湾省林
業試験所関係者との交流
520
- 写真12-6 威陽演習林事務所付近(昭
和15年頃) 521
- 写真12-7 威陽演習林事務所(昭和15
年頃) 521
- 写真12-8 朝鮮演習林付近の人々の様
子(昭和10年頃) 523
- 写真12-9 演習林周辺にあった火田民
の家屋 523
- 写真12-10 旧朝鮮演習林の現況 524
- 写真12-11 樺太演習林事務所(昭和5
年頃) 524
- 写真12-12 古丹岸団地(昭和初期) 525
- 写真12-13 亜屯団地(昭和初期) 525
- 写真12-14 作業員と捕獲されたヒグ
マ 525
- 写真12-15 管流し 527
- 写真12-16 山火事跡の整理 527
- 写真12-17 学生実習(昭和10年) 527
- 写真12-18 アシウスギの巨木 530
- 写真12-19 芦生演習林事務所構内(昭
和12年頃) 531
- 写真12-20 芦生演習林事務所構内(昭
和61年) 531
- 写真12-21 長治谷実習施設 531
- 写真12-22 学生実習(昭和30年頃)
535
- 写真12-23 学生実習(植栽) 537
- 写真12-24 公開講座 537
- 写真12-25 森林資料館「斧蛇館」 537
- 写真12-26 標茶区旧事務所 541
- 写真12-27 標茶区事務所 541
- 写真12-28 馬による丸太の玉曳き(昭
和28年) 542
- 写真12-29 製材品の生産 543
- 写真12-30 白糠区事務所 547
- 写真12-31 夏期学生実習(演習林実習)
549
- 写真12-32 冬期学生実習(演習林実
習) 549
- 写真12-33 和歌山演習林遠望 551
- 写真12-34 銚子の滝(第2林班) 551

写真12-35 海瀬定一、市河教授らによる設定時の調査(大正14年頃)	552	写真12-55 学生実習(樹木学実習)	571
写真12-36 和歌山演習林事務所	552	写真12-56 白浜試験地事務所兼学生宿舎	572
写真12-37 八幡谷作業所と苗畑(昭和32年)	554	写真12-57 ユーカリ見本林	573
写真12-38 スギ人工林	556	写真12-58 テーグマツ実験林(30年生)	573
写真12-39 学生実習(森林作業実習)	558	写真12-59 温室での導入種の育成	573
写真12-40 地元小学生対象の樹木観察会	558	写真12-60 バンクシアの花	573
写真12-41 設置当初の本部試験地	560	写真12-61 岡本道雄総長記念植樹(昭和54年)	574
写真12-42 本部試験地全景	560	写真12-62 旧徳山試験地事務所跡地(現:徳山市周南緑地)	577
写真12-43 旧演習林本部建物	561	写真12-63 整地前の緑化樹見本園付近	578
写真12-44 学生実習(昭和30年頃)	561	写真12-64 移転当時の徳山試験地	578
写真12-45 学生実習(苗畑実習)	561	写真12-65 現徳山試験地事務所と徳山市街	578
写真12-46 苗木養成されたメタセコイヤ(8年生)	562	写真12-66 徳山試験地内の天然生林	578
写真12-47 材鑑室	563	写真12-67 緑化樹見本園	578
写真12-48 旧試験地事務所	564	写真12-68 マツ属試験林	578
写真12-49 上賀茂試験地事務所	566		
写真12-50 上賀茂試験地構内周辺	566	第13章 大学院人間・環境学研究科	
写真12-51 沼田大学名誉教授寄贈の温室竣工記念(昭和30年)	568	写真13-1 科学技術と自然の調和(明治21年南禅寺境内に建造された水道橋、本学名誉教授田辺朔郎設計)	585
写真12-52 大温室	568		
写真12-53 マツ属見本林(30年生)	568	第14章 (旧)教養部	
写真12-54 タイワンスギの開花結実		写真14-1 門衛詰所	617

- 写真14-2 左から A 号館・中央館・D
号館 626
- 写真14-3 教養部図書館 660
- 写真14-4 1階閲覧室 661
- 写真14-5 LL-A322教室 666
- 写真14-6 E21教室 668
- 写真14-7 京大教養部報 672
- 写真14-8 宿泊研修(百済寺にて) 675

第18章 原子エネルギー研究所

- 写真18-1 中央実験所本館 973
- 写真18-2 工学研究所旧正門付近 973
- 写真18-3 工学研究所創立10周年記念
976
- 写真18-4 工学研究所宇治新館 980
- 写真18-5 本館屋上より(左から)機械
工作棟、原子炉安全解析実
験装置室、高温液体伝熱流
動実験室、プラズマエネル
ギー直接変換実験棟を望む
982
- 写真18-6 平成6年度公開講演会(於
京大会館) 983
- 写真18-7 高温液体金属ナトリウム自
然対流ならびに強制対流熱
伝達実験装置 1010
- 写真18-8 プラズマエネルギー直接変
換実験装置 1012
- 写真18-9 生理指標計測を用いた認知
心理実験の風景 1015
- 写真18-10 レーザー法水素同位体分離
の研究に用いられた炭酸ガ

スレーザー光源 1017

- 写真18-11 赤外分光装置と7テスラス
ブリット型超伝導電磁石
1018
- 写真18-12 蒸発実験装置 1023
- 写真18-13 レーザー光散乱スペクトロ
メーター 1024
- 写真18-14 核エネルギー炉材料高温挙
動測定装置 1027

第19章 木質科学研究所

- 写真19-1 木質科学研究所創立50周年
記念式典(木質ホール)
1035
- 写真19-2 マボヤの皮のうを精製した
もの 1074
- 写真19-3 セルロース微結晶の拡大写
真 1074
- 写真19-4 「リグニン分解菌の固体回
転培養」(木質バイオマス研
究大部門) 1076
- 写真19-5 高温高圧水蒸気処理圧縮試
験機(木質バイオマス研究
大部門) 1081
- 写真19-6 シロアリ消化管中の共生原
生動物(木材分解の主役)
(木質材料機能研究大部門)
1085
- 写真19-7 デジタル油圧式サーボ実
験万能試験機(木質材料機
能研究大部門) 1087

第 9 章

工 学 部



第 10 章

農 学 部



第 11 章

農学部附属農場



第 12 章

農学部附属演習林



第 13 章

大学院人間・環境学研究科



第 14 章

(旧) 教 養 部



第 15 章

化 学 研 究 所



第 16 章

人文科学研究所



第 17 章

胸部疾患研究所



第 18 章

原子エネルギー研究所



第 19 章

木質科学研究所



京都大学百年史 部局史編 2

平成9年9月30日 発行

編集 京都大学百年史編集委員会

発行 財団法人 京都大学後援会
京都市左京区吉田河原町15-9

印刷 第一法規出版株式会社
東京都港区南青山2-11-17
